

ストップ！ ・ タバコ

子どもたちをタバコの害から守ろう

★ ・ 最近 10 ・ 代の子どもたち、若い世代の喫煙が増えています（ ・ 図1）。日本男性の喫煙率は54% ・ で他の先進諸国の20% ・ 台に比べて突出しています。女性の喫煙率は14.5% ・ と諸外国に比べて高い方ではありませんが20 ・ 代を中心とした若い女性に増加傾向がみられます。タバコの消費本数は世界第3 ・ 位、一人あたりの消費本数は世界でトップと日本はタバコ大国です。

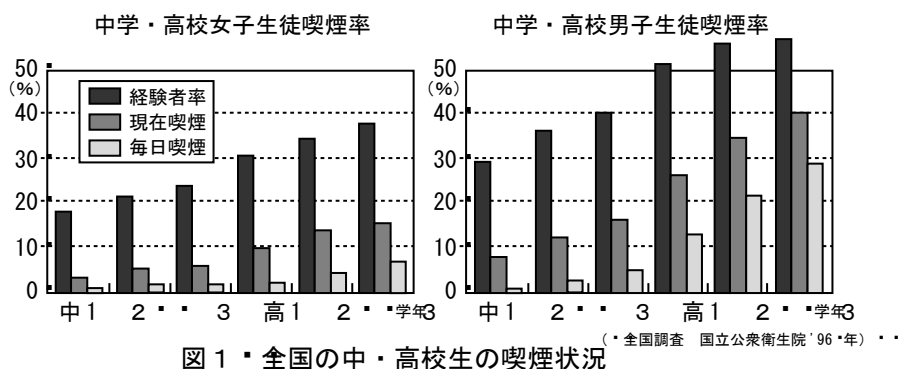


図1 ・ 全国の中・高校生の喫煙状況

★ ・ タバコは麻薬などと同じように習慣（ ・ 中毒） ・ になります。特に若い人ほどなりやすく、好奇心や友人のすすめなどちょっとしたきっかけから始まり、ひとたび吸い始めると止めにくいのです（ ・ エコチン依存症）。

★ ・ 先進国において健康を害する最大の要因はタバコです。吸い始めの年齢が若ければ若いほど、将来いろいろな健康障害が起こります。長期喫煙者では2 ・ 人に1 ・ 人がタバコに関係する病気で死亡するといわれ、日本では毎年10 ・ 万人、世界では400 ・ 万人がタバコが原因で亡くなっています。じつに世界のどこかで8 ・ 秒に1 ・ 人の割合で死亡していることになります。

★ ・ タバコは環境を汚染し、喫煙者がタバコを1 ・ 本吸うと、タバコを吸わないまわりの人も「環境タバコ煙」で1/5 ・ 本吸ったことになります（ ・ 受動喫煙）。受動喫煙によっても健康障害は起こります。喫煙者と同居している受動喫煙者も7 ・ 人に1 ・ 人がタバコに関連する病気で死亡するといわれています。

（ 裏面へつづく ） ・

火がついたタバコから不完全燃焼で立ち上がる紫煙「副流煙」と喫煙者が吐き出す煙「吐煙」とを併せて「環境タバコ煙」といいます。喫煙者が直接吸入する「主流煙」に比べて、「副流煙」は数倍から50倍近くの発がん物質や有害物質を含んでいます。(図2)・

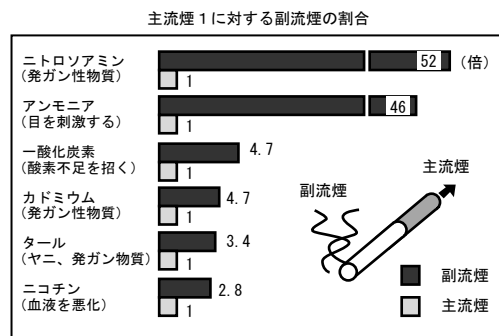


図2：タバコの煙の種類に含まれる有害物質 (Surgeon general report) [心と体の健診ガイドより引用]

★タバコが関係する主な病気

- ①肺がん：がん死亡のトップであり、非喫煙者の4～5倍
- ②慢性呼吸器疾患：肺気腫、慢性気管支炎
- ③心臓病：心筋梗塞、狭心症
- ④動脈硬化：高血圧、末梢血管閉塞症、脳塞栓、くも膜下出血
- ⑤その他のがん：喉頭がん、咽頭がん、口腔がん、副鼻腔がん、食道がん
- ⑥妊婦：流産、早産、死産、周産期合併症、低出生体重児、胎児の脳発達障害
- ⑦子ども：肺炎、気管支炎、気管支喘息、中耳炎

乳幼児突然死症候群（両親とも喫煙者の場合は4.7倍多い）

タバコ誤飲（誤飲事故のトップ）、やけど

★タバコは火事の最大の原因です（6件に1件はタバコの不始末）

★タバコは病気や火災などで大きな社会的、経済的損失を招いています。

★ぜひ、子どもたちをタバコの害から守りましょう。

- ①受動喫煙をさせないために、まねをさせないために
お父さん、お母さん、タバコを吸わないで！
- ②将来子どもがタバコを吸わないように
予防教育と環境づくりに取りかかろう・

◎予防教育：小さい頃からタバコの害を教える

◎環境づくり：タバコの自動販売機を規制する

タバコの広告を禁止する

テレビ放送中の喫煙場면을禁止する